

神奈川ウォーキング参加 H25-21



日時 : 平成26年1月30日(木)

集合 : 小田急線 片瀬江の島駅 10:00

コース : <午後から雨予報のため、稚児ヶ淵を含む江の島一周巡りは中止し>・・・正解でした・・・
片瀬江の島駅→龍口寺→サムエル・クッキング苑【ウインターチューリップ・撮影会】→
食堂「いのうえ」で昼食→「かながわ女性センター」【試写会】→江の島「青銅の鳥居」前で
解散 14:30 12,500歩(伊藤自宅含め14,500歩)

天候 : 連続晴天予定のところ、前日に急変、午後から雨情報で、結果もその通りでした。

しかし濱風は強いものの、撮影会の間は青空も見えました。

参加者 : 小山文L・吉越・濱崎夫妻・伊藤真 5名

【小田急片瀬江の島駅】初めて写真に収めましたがすばらしい“竜宮城”でお迎えの「お・も・て・な・し」
電車で濱崎ご夫妻と一緒に、9:31到着 誰もおられず、3人で弁天橋を散策し、数枚試し撮り。



雪の形



山門の彫り物4面

【龍口寺】：立正安国論を唱え他宗を排撃した日蓮は鎌倉幕府によ



り、1271年9月21日、処刑されることになったが、役人が刀を降り下ろそうとした時雷鳴轟光物が来襲日蓮を救い、土牢で夜を過ごし、佐渡へ流されました。



まだ青空が見えて、日蓮が処刑されそうになった日も、今日のように晴れから、急に雲が出てきて、雷雨雷光になったのでは・・・？と思いながらお久しぶりのお参りでした。

龍国寺の前は、江ノ電のレールがカーブになったところで、皆さん電車やレールのシャッターチャンスをとらえ撮影されておりましたが、小生は境内をぶらり中で、タイミング合わず残念でした。石垣に可愛に咲く花と、お寺の前角地の花屋さんの鮮やかに燃えるピンク色スイートピー、目立って綺麗でした。

【江の島】弁天橋をウォーク・・・と言うよりはカメラマンばかり、左右前方撮影ネタはないかと渡ります。小生の写真の前に是非素晴らしい、濱崎信郎プロの写真2枚を紹介致します。

「江の電」



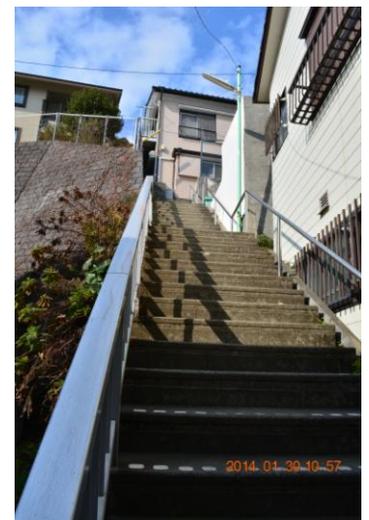
「砂丘の丘」



「青銅の鳥居」をくぐり、すぐ左の狭い路地を行く。数件の民宿があり、しばらくして右急階段を登る↓



「海上渡御祭」の神輿休憩場所になり写真を撮ったのを思い出しました流石地元小山さん詳しい



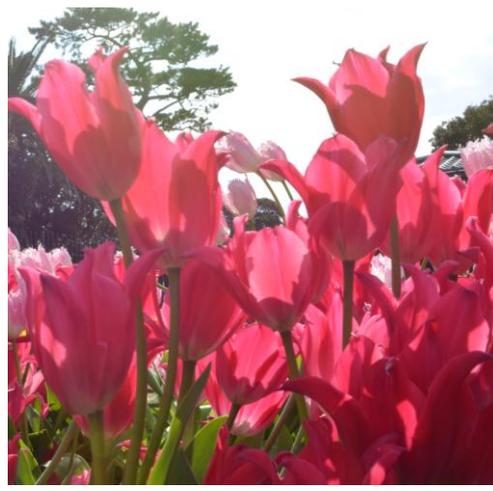
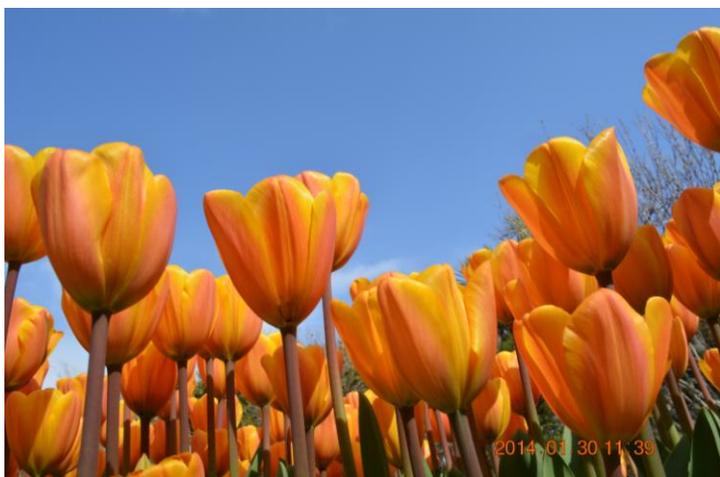
【江の島神社 (中津宮)】



【サムエル・コッキング苑】：アイルランド人貿易商サムエル・コッキングが日本人女性と結婚し、1880年頂上の金亀山与願寺(現江の島神社)の菜園敷地3,800坪を買収し別荘地を立て、造園し1880年開園。入場料¥200(高齢割引ありません)入るとすぐ入口に「チューリップ苑」が今日の【カメラ撮影会会場】



「ウインターチューリップ」はホワイトドリーム・キースネリス・プリティウーマン・イエローフライト等



チューリップコンテストを実施中で、KWC「カメラ散歩」グループも小山Lがまとめて提出されるという。HPレポート用参考までに数枚掲載しました。

チューリップはプロにお任せして苑内を1人ぶらり



友好都市「中国昆明市」より寄贈された孔雀の像と鸞碧亭↑
展望台、今日は富士山も見えず上りませんでした。



昼食を期待していた「蕎麦道場」↓今日はお休みで、土・日丈営業とのことでした。弁当持参せず残念。



↓煉瓦造りの別荘庭園跡が残されていました。じっとしてチューリップ眺める？



風が強くなり↓チュウリップ撮影も大変の様でした。天気予報の通り雲行もあやしくなり、そろそろ撮影会終わり。



弁当持参の方もおられました。地元小山さんの「**美味しい地魚を食べさせるお店**」【**食堂 いのうえ**】を紹介され、お店のメニューを見ると獲れたて地魚の刺身や煮物。少々お高いが皆さん、入りましょう！

【昼食 in いのうえ】



刺身は「むつ・ヒラメ・きんめ」3皿、煮魚は「カサゴ、メバル」各1皿を5人で仲良く、瓶ビール&熱燗でささやかに潤した、最高のお食事でした。



参考までに@2, 200

「女性センター」はすぐそばにあり、素晴らしい建物です。ヨットハーバーはすぐ前。

【神奈川女性センター】1982年「女性の自立と社会参加を促進するための施設」として開館。

男女共同参画社会の実施に寄与するための施設と位置付けられ、平成3年に「女性センター」に名称を変更した。素泊まり一泊¥1,610～2,190と格安。もちろん男性も宿泊できます。レストランもあり。



2階立派な会議室でスクリーンを借り、吉越さん持参のPCスクリーンで各自撮影のチューリップ写真を写しだし鑑賞しました。13:20～14:20 借料@200×5人=¥1,000 さすがに皆さんプロの写真で、小生の写真はお恥ずかしくて見せられません。購入して半年の一眼レフ、機能の奥が深く、使いこなして慣れる必要ありと痛感しました。取説だけでは理解出来ず、小田急線車内で大和まで同席の濱崎ご夫妻にいろいろ教えて戴きました。有難うございました。やはり重たくても持参しないと駄目です。

編集後記：久しぶりのカメラ散歩参加。一眼レフに慣れるように、今回は一定場所での撮影会での撮影、楽ちんと思ひ持参。当初は望遠レンズも入れていましたが、天候が急変し、午後から雨模様とのことで、富士山も見えないだろうとやめました。同行された、濱崎さん望遠レンズ持参され、「砂丘の丘」200mmで撮られたとのこと、差し替えも要領が良く早く流石に使いこなされており、感心しました。

参加者当初7名でしたが斎藤さん、小島さん不参加で、5名になりましたが、結果的には地元小山さんの案内で、美味しい地魚のお店での昼食を戴くことが出来最高でした。午後からは予報通り雨で、カメラには禁物、「稚児ヶ淵」の波しぶきや「江の島岩屋」撮影は諦めて、早めの帰宅となり、翌日の夫婦グループの「横浜イタリア山他散策&食事会」に余力を残すことが出来ました。小山Lと同行の皆さんに厚くお礼申し上げます。

【番外参考編】「展望台からの富士山」& 「稚児ヶ淵波しぶき富士」を狙っていたのですが、参考までに観光HPから引用させて戴きました。

